

ならしん景気動向調査レポート

(第26回) 2020年 11月期

奈良信用金庫 支店部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2020年11月
2. 調査時点..... 2020年11月 (前回調査 2020年7月)
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	39	100.0%
不動産業	17	17	100.0%
サービス業	14	14	100.0%
卸売・小売業	31	29	93.5%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	8	88.9%
医療・福祉	11	11	100.0%
全業種合計	135	132	97.8%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう135社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、132社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

#####

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期売上	前年同期収益	残業時間	人材
製造業	39	39	100.0%	-25.6%	-23.1%	-23.1%	20.5%	-38.5%	-35.9%	12.8%	-12.8%
不動産業	17	17	100.0%	-5.9%	-11.8%	-23.5%	5.9%	-35.3%	-35.3%	23.5%	0.0%
サービス業	14	14	100.0%	-64.3%	-64.3%	-64.3%	14.3%	-92.9%	-85.7%	35.7%	-7.1%
卸売・小売業	31	29	93.5%	-34.5%	-27.6%	-31.0%	13.8%	-34.5%	-37.9%	20.7%	10.3%
建設業	14	14	100.0%	35.7%	42.9%	21.4%	64.3%	14.3%	14.3%	-14.3%	-7.1%
運輸業	9	8	88.9%	-37.5%	-37.5%	-37.5%	50.0%	-37.5%	-50.0%	0.0%	12.5%
医療・福祉	11	11	100.0%	-50.0%	-50.0%	-50.0%	10.0%	-70.0%	-80.0%	-20.0%	-10.0%
全業種合計	135	132	97.8%	-25.2%	-22.9%	-27.5%	22.1%	-39.7%	-40.5%	12.2%	-3.1%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	26	12	8	30		
不動産業	5	11	3	13		
サービス業	11	0	4	7		
卸売・小売業	11	15	4	22		
建設業	9	5	1	13		
運輸業	6	2	3	5		
医療・福祉	7	3	1	8		
全業種合計	75	48	24	98		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[\frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-42.0%	-25.2%	16.8%	-43.5%	-22.9%	20.6%	-40.5%	-27.5%	13.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
10.7%	22.1%	11.5%	-42.0%	-39.7%	2.3%	-44.3%	-40.5%	3.8%
DI								
残業時間			人材					
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
20.6%	12.2%	-8.4%	0.0%	-3.1%	-3.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
80.2%	61.0%	-19.2%	25.2%	19.7%	-5.5%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より16.8ポイント上昇したものの、悪化傾向(-25.2%)という結果になった。変化幅を上方へと向かわせたのはサービス業を除く全業種という結果になった。

売上についても、前回調査時より20.6ポイントの上昇となり、悪化傾向(-22.9%)という結果になった。変化幅を上方へと向かわせたのは全業種という結果になった。

収益面についても前回調査時より13.0ポイントの上昇となり、悪化傾向(-27.5%)という結果になった。建設業、運輸業、医療は変化幅に変動無く、製造業、不動産業、サービス業、卸小売業が上方へと向かわせる結果になった。

経営上の問題点として、「売上停滞・減少」を挙げる企業が増加し、常態化している「人手不足」「同業者競争の激化」を大きく上回った。

それらの解決策として「販路拡大」「経費削減」「人材確保」「資金繰り安定」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多く見受けられた。

特別調査では、コロナ禍における各社の取組み及び信用金庫に求めることについて企業に回答いただいた。各社の取組みにおいては職場環境整備が79社と最も多く、製造業・サービス業・卸小売業についてはオンライン会議やオンライン営業を取り組んでいる企業が多く見られた。

信用金庫に求めることについては融資スタンスを求める企業が64社と最も多く、事業課題の共有・相談が次いで46社となった。借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の61.0%となり、前回は19.2ポイントの低下となった。

資金調達を行った結果、概ね3~6ヶ月の資金繰りの目途がついている企業が75社となった。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時から2.3ポイント上昇したものの、悪化傾向(-39.7%)となった。前年同期比の収益についても同様に3.8ポイント上昇したが、こちらも悪化傾向(-40.5%)となった。

なお、設備投資を行ったのは全体の19.7%であり、前回調査時より5.5ポイント低下した。

10-12月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より全ての項目で「良い」「やや良い」と答えた企業は僅かであるが増加し、普通であると答えた企業は増加した。「やや悪い」「悪い」と答えた企業数は減少した。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入9社 (2)オンライン営業8社 (3)物流の変更1社 (4)オンライン研修・会議19社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等0社 (6)健康に配慮した職場環境整備79社 (7)その他3社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス64社 (2)地域情報40社 (3)業界動向19社 (4)事業課題の共有・相談46社 (5)法務・税務情報3社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング17社 (7)その他1社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」23社、「普通」57社、「やや悪い」38社、「悪い」9社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」24社、「普通」55社、「やや悪い」39社、「悪い」9社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」19社、「普通」62社、「やや悪い」38社、「悪い」8社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

#####

製造業

対象先

39

回答先

39

回答率

100.0%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-42.1%	-25.6%	16.5%	-39.5%	-23.1%	16.4%	-42.1%	-23.1%	19.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
2.6%	20.5%	17.9%	-39.5%	-38.5%	1.0%	-44.7%	-35.9%	8.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
26.3%	12.8%	-13.5%	-7.9%	-12.8%	-4.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
86.8%	68.4%	-18.4%	42.1%	21.1%	-21.1%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時に比べて16.5ポイント上昇したものの悪化傾向となった。

売上金額についても16.4ポイント上昇が見られたが、悪化傾向(-23.1%)となった。

原材料価格は前回調査時と比較して10.3ポイント上昇し良化傾向となった。

収益については、前回比で19.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-23.1%)を示した。

上記により資金繰りについては17.9ポイント上昇し、良化傾向(20.5%)を示した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の68.4%であり、前回より18.4ポイント低下している。

前年同期比売上は前回より1.0ポイントの上昇となったが、悪化傾向(-38.5%)となった

また、同収益も前回調査時より8.8ポイントの上昇が見られたが、悪化傾向(-35.9%)となった。

残業時間については前回比13.5ポイント低下したものの、良化傾向を維持した。

人材については4.9ポイント低下し悪化傾向(-12.8%)となった。

なお、設備投資を行った先は全体の21.1%で、前回より21.1ポイント低下している。

■経営上の問題点

新型コロナウイルスの影響により「売上停滞」が22社で最も多く、次点で「同業者競争の激化」が7社、「人手不足」が6社と続いた。

■当面の重点経営施策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、21社で重点施策とされている。次いで「経費削減」16社「商品性の拡大」が15社となっている。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入3社 (2)オンライン営業4社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議7社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等15社 (6)健康に配慮した職場環境整備20社 (7)その他0社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス19社 (2)地域情報7社 (3)業界動向6社 (4)事業課題の共有・相談13社 (5)法務・税務情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング9社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」9社、「普通」13社、「やや悪い」14社、「悪い」2社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」9社、「普通」13社、「やや悪い」14社、「悪い」2社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」16社、「やや悪い」13社、「悪い」2社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは引き続き悪化傾向となりました。経済活動が徐々に戻りつつあるものの、第2波・第3波の懸念もあり、従来の経済活動に戻るまで時間を要すると思料されますが、借入実施企業が多く資金繰りについては6ヶ月程度目途がついている企業が多く見られました。

製造商品によっては国内需要が増加していることから、今後の業績見通しが「良い」「やや良い」以上の回答を行った企業も一定数存在する結果となりました。

#####

不動産業

対象先 17

回答先 17

回答率 100.0%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-43.8%	-5.9%	37.9%	-43.8%	-11.8%	32.0%	-37.5%	-23.5%	14.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.8%	5.9%	-12.9%	-50.0%	-35.3%	14.7%	-68.8%	-35.3%	33.5%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
12.5%	23.5%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
66.7%	31.3%	-35.4%	14.3%	18.8%	4.5%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より37.9ポイント上昇したものの、悪化傾向(-5.9%)となった。売上についても32.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-11.8%)となった。収益についても同様に14.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-23.5%)を示した。仕入れ価格は前回調査時より6.3ポイントの改善となり中立を示した。資金繰りについて12.9ポイント低下したが、良化傾向(5.9%)を維持している。借入によって資金調達を行った先は全体の31.3%であり、前回より35.4ポイント低下している。

前年同月比売上は、14.7ポイント上昇したが悪化傾向(-35.3%)となった。同収益についても、33.5ポイント上昇したが悪化傾向(-35.3%)となった。残業時間については前回調査時から11.0ポイント上昇し、良化傾向(23.5%)を維持した。人材については変動無く、中立で留まった。設備投資実施企業は4.5ポイント上昇となった。

■経営上の問題点

経営課題としては、「在庫調整」が5社でトップとなり、次点で「同業者競争の激化」が4社、「売上停滞・減少」「利益幅の縮小」「商圏人口の減少」が3社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「経費削減」「販路拡大」「情報力の強化」が6社ずつと最も多かった。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入0社 (2)オンライン営業0社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議0社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等6社 (6)健康に配慮した職場環境整備10社 (7)その他1社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス7社 (2)地域情報11社 (3)業界動向2社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)法務・税務情報0社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他1社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」14社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは引き続き悪化傾向となりました。経済活動が徐々に戻りつつあるものの、第2波・第3波の懸念もあり、従来の経済活動に戻るまで時間を要すると思料されることから、借入実施企業が多く資金繰りについては3~6ヶ月程度目途がついているという回答となりました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-64.3%	-64.3%	0.0%	-71.4%	-64.3%	7.1%	-71.4%	-64.3%	7.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
7.1%	14.3%	7.1%	-71.4%	-92.9%	-21.4%	-64.3%	-85.7%	-21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	35.7%	-14.3%	0.0%	-7.1%	-7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
92.9%	100.0%	7.1%	28.6%	36.4%	7.8%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から変化無く、前回調査同様に悪化傾向(-64.3%)を示した。

売上金額については、7.1ポイント上昇したが、悪化傾向(-64.3%)となった。

収益についても7.1ポイント上昇したが、悪化傾向(-64.3%)となった。

一方で材料価格については、前回比14.3ポイント上昇し良化傾向(7.1%)に転じた。

前年同期比売上は前回調査時から21.4ポイントと低下し、悪化傾向(-92.9%)となった。

同収益についても、21.4ポイント低下し、悪化傾向(-85.7%)を示した。

人材については、7.1ポイント低下し、悪化傾向(-7.1%)を示した。

残業時間については14.3ポイント低下したが、良化傾向(35.7%)を維持した。

資金繰りは良化傾向を維持し、借入によって資金調達を行った先は100%であった。

設備投資を行った先は全体の36.4%であり、前回調査時より上昇した。

■経営上の問題点

新型コロナウイルスの影響により「売上停滞・減少」が8社で最も多く、「人手不足」5社、「同業者競争の激化」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

売上停滞・減少により当面の重点経営施策は「経費節減」と考えている企業が8社と最も多く、次点で「人材確保」が7社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入3社 (2)オンライン営業1社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議5社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等4社 (6)健康に配慮した職場環境整備8社 (7)その他2社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス7社 (2)地域情報4社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談3社 (5)法務・税務情報0社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」3社、「やや悪い」5社、「悪い」3社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」3社、「やや悪い」5社、「悪い」3社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」4社、「やや悪い」5社、「悪い」3社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは引き続き悪化傾向となりました。経済活動が徐々に戻りつつあるものの、第2波・第3波の懸念もあり、従来の経済活動に戻るまで時間を要すると思料されることから、借入実施企業が多く資金繰りについては6ヶ月程度目途がついている企業が多く見られました。また、社内体制の見直し機会と捉え新商品・新規ビジネスの企画や不採算部門からの撤退を検討している企業が見られました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-48.4%	-34.5%	13.9%	-58.1%	-27.6%	30.5%	-51.6%	-31.0%	20.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
6.5%	13.8%	7.3%	-54.8%	-34.5%	20.4%	-51.6%	-37.9%	13.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
16.1%	20.7%	4.6%	3.2%	10.3%	7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
72.4%	42.3%	-30.1%	20.7%	15.4%	-5.3%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から13.9ポイント上昇し、悪化傾向(-34.5%)と縮小した。売上に関しては30.5ポイント上昇したが、悪化傾向(-27.6%)にであり、収益についても、悪化傾向(-31.0%)を継続する結果となった。

仕入れ価格については、前回調査時より16.1ポイント上昇し中立を示した。

在庫については前回比で10.1ポイントの上昇となり良化傾向(6.9%)に転じた。

前年同期比売上については、20.4ポイント上昇し、悪化傾向(-34.5%)に縮小した。

また、同収益についても13.7ポイント上昇し、悪化傾向(-37.9%)に縮小した。

人材については7.1ポイント上昇し、良化傾向(10.3%)を維持する結果となった。

残業時間についても前回調査時より4.6ポイント上昇し、引き続き良化傾向(20.7%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の42.3%となった。

設備投資割合については、15.4%と、5.3ポイントの低下となった。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が17社で最も多く、前回同様一番多い回答となった。次点で「在庫調整」が5社、「利益幅の縮小」「商圏人口の減少」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が13社でトップ。次点は「経費節減」が13社、「経費削減」「社員教育」「技術力・営業力強化」が7社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入1社 (2)オンライン営業3社 (3)物流の変更1社 (4)オンライン研修・会議5社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等9社 (6)健康に配慮した職場環境整備16社 (7)その他0社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス16社 (2)地域情報10社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談13社 (5)法務・税務情報0社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング4社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」12社、「悪い」3社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」11社、「悪い」3社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」11社、「やや悪い」10社、「悪い」3社
新型コロナウイルスの影響が最も大きく、業況・売上・収益等様々なDIは引き続き悪化傾向となりました。経済活動が徐々に戻りつつあるものの、第2波・第3波の懸念もあり、従来の経済活動に戻るまで時間を要すると思料されることから、借入実施企業が多く資金繰りについては6ヶ月程度目途がついている企業が多く見られました。販路拡大と経費削減の観点からまた、商流の見直しを課題としている企業が多く見られました。	

#####

建設業

対象先 14

回答先 14

回答率 100.0%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.4%	35.7%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	64.3%	28.6%	28.6%	14.3%	-14.3%	28.6%	14.3%	-14.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
7.1%	-14.3%	-21.4%	0.0%	-7.1%	-7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
91.7%	64.3%	-27.4%	8.3%	7.1%	-1.2%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から14.3ポイント上昇し、良化傾向(35.7%)となった。

売上金額についても同様に14.3ポイント改善し、良化傾向(42.9%)となった。

一方、受注残高、施工高も前回調査時よりも上昇し、良化傾向を維持した。

収益については、前回調査時から変動無く、良化傾向(21.4%)を維持した。

資金繰りについては、前回調査時より28.6ポイント上昇し、良化傾向(64.7%)となった。

前年同期比売上は前回から14.3ポイント低下したが、良化傾向(14.3%)を維持した。

同収益についても、前回調査時から14.3ポイント低下したが良化傾向(14.3%)を維持した。

残業時間については前回から21.4ポイント低下し、悪化傾向(-14.3%)に転じた。

人材についても前回調査時から7.1ポイント低下し悪化傾向(-7.1%)に転じた。

借入により資金調達を行った先は64.3%であり、引き続き高い借入実施率を示した。

設備投資を行った先は、前回から1.2ポイント低下し7.1%であった。

■経営上の問題点

「同業者競争の激化」が5社と最も多く、次いで「売上停滞・減少」「人手不足」が4社と続いた。

同業者競争の激化などが経営に大きな影響を与えていると考えられる。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が11社で最も多く、次点で、「技術力・営業力強化」が5社と続いた。

同業者競争の激化を受け、企業として勝ち残るため、技術力・営業力強化や販路拡大に注力する姿勢が伺える結果となった。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入1社 (2)オンライン営業0社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議0社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等0社 (6)健康に配慮した職場環境整備10社 (7)その他0社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス6社 (2)地域情報3社 (3)業界動向1社 (4)事業課題の共有・相談5社 (5)法務・税務情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの影響を受けていましたが、業況・売上・収益等様々なDIが回復し、良化傾向を維持しました。他業種と比べても回復ペースが早い結果が出ております。借入実施についても積極的に行っており、資金繰りについても。

同業者競争の激化から、当面の重点経営施策は、引き続き「販路拡大」、他社との差別化を図るために、「技術力・営業力強化」に取り組む姿勢が伺えます。

#####

運輸業

対象先

9

回答先

8

回答率

88.9%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-50.0%	-37.5%	12.5%	-50.0%	-37.5%	12.5%	-37.5%	-37.5%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	50.0%	0.0%	-37.5%	-37.5%	0.0%	-37.5%	-50.0%	-12.5%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
25.0%	0.0%	-25.0%	25.0%	12.5%	-12.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
77.8%	75.0%	-2.8%	25.0%	37.5%	12.5%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より12.5ポイント上昇したものの、悪化傾向(-37.5%)となった。売上金額も前回から12.5ポイント上昇したが、悪化傾向(-37.5%)を継続することとなった。収益については変動無く、悪化傾向(-37.5%)を維持することとなった。

資金繰りについては前回調査時と変動無く、良化傾向(50.0%)となった。

借入によって資金調達を行った先は全体の75.0%であり、前回2.8ポイントの減少となった。なお、設備投資を行った先は37.5%で、前回から12.5ポイントの上昇となった。

前年同期比売上は前回より変動無く、悪化傾向(-37.5%)を維持した。同収益については、12.5ポイント低下し悪化傾向(-50.0%)となった。

人材については前回より12.5ポイント低下したものの、良化傾向(12.5%)を維持した。残業時間については、前回調査時から25.0ポイント低下し、中立を示した。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が5社で最も多く、次点で「同業者競争の激化」が4社と続いた。売上停滞・減少に加えて、同業者競争の激化が経営に大きな影響を与えていると考えられる。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が6社で最も多く、次点で「人材確保」、「料金調製」が3社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入0社 (2)オンライン営業0社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議0社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等3社 (6)健康に配慮した職場環境整備8社 (7)その他0社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス4社 (2)地域情報2社 (3)業界動向2社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)法務・税務情報0社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」5社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」3社、「やや悪い」1社、「悪い」1社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」3社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの影響が続いており、業況・売上・収益等様々なDIについて、悪い状況が続く結果となりました。特に、業況と売上については前回調査時より悪化しました。

資金繰りについては、借入調達を事前に実施している先が多く、懸念していない回答が多くなりました。

第2波・第3波の影響を考慮するものの、物流への需要回復を見込む先がもあり、将来の業績、売上、収益に対しては「普通」以上の回答をする先が多く見られました。

#####

医療・福祉

対象先

11

回答先

11

回答率

100.0%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-70.0%	-50.0%	20.0%	-70.0%	-50.0%	20.0%	-50.0%	-50.0%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-20.0%	10.0%	30.0%	-60.0%	-70.0%	-10.0%	-60.0%	-80.0%	-20.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	-20.0%	-20.0%	0.0%	-10.0%	-10.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
66.7%	70.0%	3.3%	0.0%	11.1%	11.1%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査時よ20.0ポイント上昇したものの、悪化傾向(-50.0%)となった。売上金額についても20.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-50.0%)に拡大した。また、ベツ稼働率についても40.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-10.0%)となった。通院者数については前回から30.0ポイント上昇し、悪化傾向(-50.0%)となった。収益については前回調査より変動無く、悪化傾向(-50.0%)を維持した。

資金繰りについては、30.0ポイントの上昇がみられ、良化傾向(10.0%)に転じた。借入によって資金調達を行った先は全体の70.0%であり、前回から3.3ポイントの増加となった。設備投資を行った先は11.1%となった。

前年同期比売上は前回調査時から10.0ポイント低下し、悪化傾向(-70.0%)を示した。同収益についても同様に、20.0ポイント低下し、悪化傾向(-80.0%)を示している。残業時間は前回から20.0%低下し、悪化傾向(-20.0%)に転じた。人材についても前回から10.0ポイント低下し、悪化傾向(-10.0%)に転じた。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が最も多く6社であった。次点で「経費の増加」「人手不足」「人件費の増加」と続いた。

■当面の重点経営施策

「人材確保」が9社で最も多かった。次点で「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
コロナ禍で導入した事例	(1)テレワークの導入1社 (2)オンライン営業0社 (3)物流の変更0社 (4)オンライン研修・会議2社 (5)時短営業・事業所内のシフト組み等2社 (6)健康に配慮した職場環境整備7社 (7)その他0社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報3社 (3)業界動向0社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)法務・税務情報0社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」5社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」4社、「やや悪い」6社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」4社、「やや悪い」6社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの第二波、第三波と続いている状況もあり、収益状況は全面的に悪化傾向となりました。今後の見通しも業績・売上額・収益について「やや悪い」と回答した先が多く見られました。また、前回調査実施時より通院者数、ベツ稼働率が上昇し、第二波終息後の警戒心緩和があったと思われます。しかしながら、収益状況は回復しておらず、医療業界にも厳しい状態となっております。コロナ禍の中で、勤務体制の見直しは進んでおり、テレワークの導入、オンライン会議、職場環境整備等実施した先が多い回答となりました。